

令和2年（2020年）4月23日

令和2年（2020年）4月

定例教育委員会会議自由討議資料

テーマ「休校期間における児童生徒の学習保障について」

休校期間における児童生徒の学習保障について

家庭学習の参考として各教科ごとに示した内容

1 新学年の教科書を活用した学習

- (1) 掲載作品の感想メモづくり (国語)
- (2) 好きな歴史上の人物まとめ (社会)
- (3) 学習する内容や用具の使い方等の確認 (図工)
◎課題プリントの配付及び提出 など

2 熊本市独自の学習

- (1) ドリルパーク (ベネッセのデジタル学習問題) の活用
- (2) SYENの「復習プリント」「活用力プリント」の活用
- (3) 学びノート (小: 国社算理、中: 国社数理英) の活用 など

3 動画を視聴する学習

- (1) 子どもの学び応援サイトの活用 (文科省HP)
- (2) おすすめ学習サイト10プラスの活用 (市教育センターHP)
- (3) NHK for schoolの活用 (NHKテレビ番組) など

4 長期休業を生かした学習

- (1) 日本一周や世界一周のプランの作成 (社会)
- (2) 自由研究への取組 (理科)
- (3) ご飯炊き、手縫いマスク、洗濯等の実践 (家庭) など

オンライン授業

- ステップ1 健康観察
- ステップ2 家庭での様子のやりとり
- ステップ3 学習課題の提出
- ステップ4 子ども同士の学び合い
- ステップ5 ビデオ会議

学習支援特別テレビ番組 「くまもっとまなびたいム」

- 学び残し部分等の学習支援
学習内容紹介 など

オンライン授業の流れ

オンライン授業のモデル

【使用アプリ】

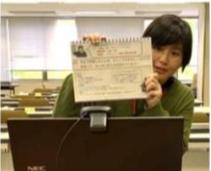
- ・ロイロノート（授業支援アプリ）
- ・Zoom（ビデオ会議システム）

【遠隔授業の流れ】

	主な活動	使用アプリ	活動の内容	活動の様子
1	健康観察を行う。 (10分程度)	ロイロノート Zoom	・ロイロノートのカードに健康状態を記入し、提出箱に提出する。 ・Zoomのビデオ会議で、健康状態を確認する。	

時間を決めて（例）午前9:00

学習課題を伝える

2	課題を説明する (10分程度)	Zoom	・Zoomのビデオ会議を使用して、課題を説明する。画面共有機能を使用することで、デジタル教科書・プレゼンテーションスライド・タブレット端末の画面等を提示することができる。	 課題提示
---	--------------------	------	---	---

時間をかけて取り組む課題
複数の教科を合わせて取り組む課題

課題に取り組む ⇨ 提出

3	児童生徒の答えや考え方を共有する (10分程度)	ロイロノート (回答共有)	・「送る」機能で、児童生徒に学習課題や問題を送ることができる。「提出」機能で学習課題の成果物や問題の回答などの提出期限を設定して回収することができる。また、提出箱の提出物は、児童生徒に共有させることができるため、お互いの学びを深めることができる。	 課題解決学習→提出
---	-----------------------------	------------------	---	--

学習したことをロイロノートなどを使って発表する

4	発表 (10分程度)	Zoom ロイロノート	・ロイロノートやZoomのビデオ会議を使用して、発表を行う。 ・提出箱に提出されたカードを生徒発表機能で提示しながら発表する。	 発表
---	---------------	--------------------	--	---

学んだことをふりかえる⇨次の課題（学び）へ

5	ふりかえり (5分程度)	Zoom ロイロノート	・ふりかえりをノートや学習シートに記入し、写真に撮り、提出箱へ送る。 ・ふりかえりをロイロノートのカードに直接記入し、提出箱へ送る	 ふりかえり
---	-----------------	--------------------	--	--

オンライン授業のスムーズステップ（例）

オンライン授業のスムーズステップ（例） 「ロイロノートを基本として」

	昼間以外の時間に保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間子どもが自分のスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間保護者と一緒にWiFi接続可能なスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間子どもがWiFi接続可能なスマートフォン・タブレット・PC等（学校用iPadを含む）を使用する場合
ステップ1		・健康観察のカード（健康状態やメッセージ）を先生と交換する。 ・学校と家庭の連絡手段としてカードでメッセージを送る。			（共通）
ステップ2		・健康観察のカード（健康状態やメッセージ）を先生と交換する。 ・写真カードを送る。			（共通）
ステップ3	・健康観察に加え、学習課題やプリントをカードで送り、取り組んだものを保護者と一緒に提出する。 ・写真カードを送る。		・健康観察に加え、学習課題やプリントをカードで送り、取り組んだものを自分で提出する。 ・写真カードを送る。		
ステップ4				・決められた時間にカードや写真で学習の成果物を提出する。 ・子ども同士がカード送り合い、学び合う。	
ステップ5				・決められた時間にカードや写真や動画で学習の成果物を提出する。 ・子ども同士がカード送り合ったり、zoomでビデオ会議をしたりしながら学び合う。	

ステップ1
健康観察と連絡手段として

- ・保護者のスマートフォン・タブレット・PC等を使って実施。
- ・朝から親子で健康観察用のロイロノートカードを担当に送る。
- ・担任はそのカードにメッセージを書いて返す。
- 小学校の低学年でも家庭との連絡が可能、親子でする事で保護者の安心にもつながる。



戻る

ステップ2
健康観察とカードや写真の交換

- ・昼間、保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使って実施。
- ・朝から健康観察用のロイロノートカードを担当に送る。
- ・担任はそのカードにメッセージを書いて返す。
- 決まった時間にやりとりをすることができる。
- 返信はいつでも可能。
- ※テキストカードや写真カードでのやりとりを想定。（日記や家庭での様子など）



戻る

ステップ3
課題の提出

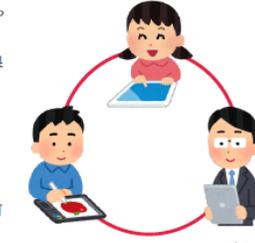
- ・健康観察に加え、課題をプリントやカードで提示
- ・学習したことをスマートフォン・タブレット・PC等を使ってロイロノートに提出。
- ・その日に学習したものは、ノートやワークシートに書いたものを写真で撮って提出することもできる。
- ・教師は、提出されたものを後で添削して子どもに返す。



戻る

ステップ4
課題の提出と子ども同士での学び合い

- ・子どもがスマートフォン・タブレット・PC等を使って取り組む。
- ・決められた時間に担任（教科担任）から出された課題に取り組む。
- ・決められた時間に、数枚のカード、写真カード等を提出する。
- ・子ども同士の情報共有、担任（教科担任）とやりとりが可能。
- ・子ども同士がカードを送り合い、学び合うことも可能。自由な時間に子ども同士でわからないところを教え合うことも可能。



戻る

ステップ5
ビデオ会議の活用

- ・ステップ4に課題を出したり、意見を発表する場面でZoom（ビデオ会議）を活用。
- ・子どもがロイロノートの思考ツールやプレゼンテーションでまとめたものを発表することができる。
- 教室での発表と同じような形式で発表することができる。

Zoomを安全に使うために→



戻る